

2016年3月24日
株式会社パートナーエージェント

Vol.47 婚活総合研究所「男子校／女子校出身者と婚活の関係性」アンケート調査実施

「女子校＝モテない／婚期遅れる」は根拠なし！
一方、男子校への進学は要注意!? 「結婚したくない」が約3割、
異性との交際経験アリは6割に

～共学出身者は「性格」「金銭感覚」といった内面重視、男子校／女子校出身者は「家柄」などの外面重視？～

成婚率にこだわる婚活支援サービスを展開する株式会社パートナーエージェント(証券コード: 東証マザーズ6181、本社: 東京都品川区、代表取締役社長: 佐藤茂、<http://www.p-a.jp/>、以下パートナーエージェント)は、「男子校／女子校出身者と婚活の関係性」についてアンケート調査を実施いたしました。

<調査背景>

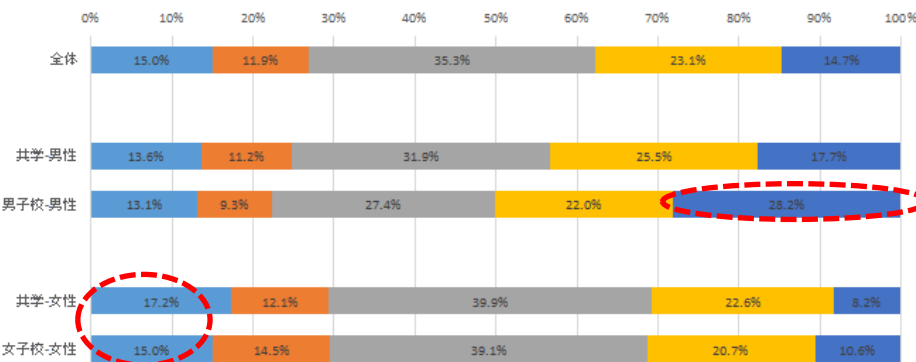
春は卒業／入学のシーズンです。今年も多くの人が、別れ／新たな出会いを経験するのではないのでしょうか。ところで、学校と婚活を取り巻く噂の1つとして、「共学出身者と比べて、男子校／女子校出身者は恋愛や婚活の面で奥手になりがち」といったものがあります。男子校／女子校を経験すると恋愛や婚活において不利に働くのでしょうか。アラサーの未婚男女2115人を対象に、恋愛・婚活事情をアンケートしてみました。

<調査結果サマリ>

- ・男子校経験者、3割が「結婚したくない」
- ・男子校出身者の27%、友人は「ほとんど未婚」
- ・男子校出身で交際経験アリ、6割強にとどまる
- ・男子校／女子校の出身者ほど、結婚相手の「家柄」を重視する傾向
- ・男子校／女子校での経験、恋愛面で有利にも不利にも働いていた

◆男子校出身者、3割が「結婚したくない」

本調査では、高校・大学を共学で過ごした未婚男女(「共学-男性」「共学-女性」のグループ)と、高校または、大学で男子校か女子校を経験した未婚男女(「男子校-男性」「女子校-女性」のグループ)とで、婚活事情の違いを調べてみました。まずは結婚に対する意欲・状況について訪ねてみたところ、次のグラフのような結果になりました。



- 近いうちに結婚予定だ
- 結婚したいが婚活はしていない
- 結婚したくない
- 結婚したくない
- 結婚したいが結婚したくないか、何とも言えない

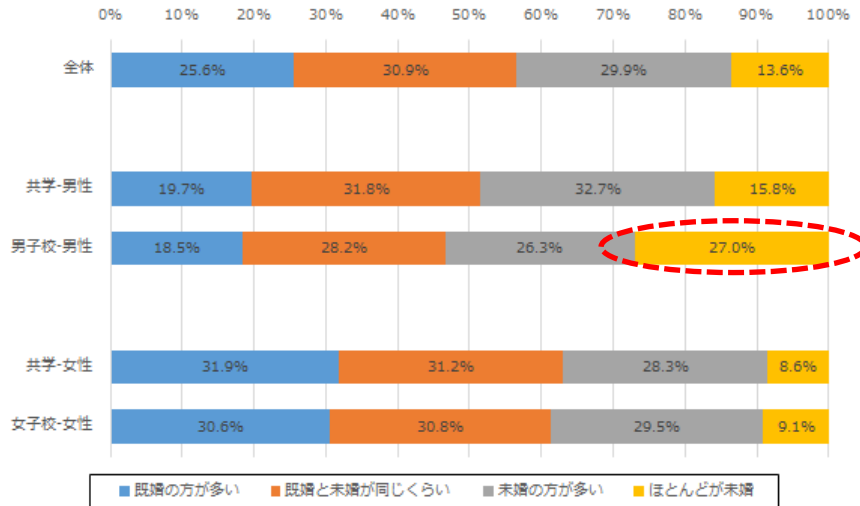
女性については、「近いうちに結婚予定」との回答が「共学-女性」グループで17.2%だったのに対して「女子校-女性」グループでは15.0%と若干下回りました。けれど、「結婚したくて婚活中だ」との回答では、「共学-女性」グループが12.1%に対して「女子校-女性」グループが14.5%と上回っています。全体的に見ると、それほど大きな違いは無いようです。

一方、男性の回答結果に注目してみると、「結婚予定」「婚活中」との回答者は「共学-男性」グループと「男子校-男性」グループとを比べてそれほど遜色ない割合でしたが、「男子校-男性」グループでは「結婚したくない」とはっきり意思を表明した回答者が28.2%と飛び抜けて多くなっています。

◆男子校出身者の27%、友人は「ほとんど未婚」

「女子校に入ると婚期が遅れる」という説を耳にすることもありますが、実情はどうなのでしょう。

学生時代の友人の結婚状況について質問してみたところ、共学グループと男子校／女子校グループとで、大差ない結果となりました。

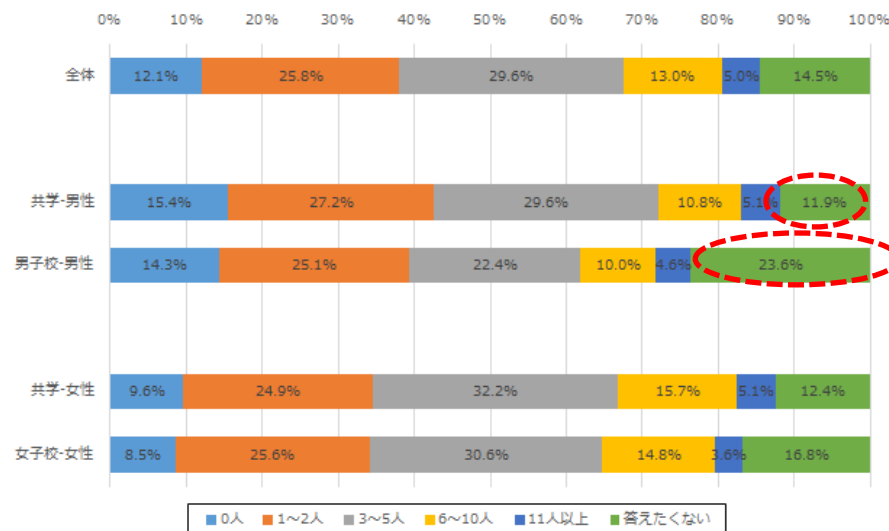


ただ、ここでも目立ったのが「男子校-男性」グループ。「ほとんどが未婚」との回答が27.0%となり、「共学-男性」グループと比べて明らかに多くなっています。

◆男子校出身で交際経験アリ、6割強にとどまる

共学グループと男子校／女子校グループとの比較のため、もう一つ、これまでの交際人数について聞いてみました。

ここまでの傾向と同じように、女性の回答を見ると、「共学-女性」グループと「女子校-女性」グループとを比べたときに、若干、「女子校-女性」グループの方に奥手の傾向が見受けられるものの、それほど大きな違いは見つかりませんでした。一方、男性の方では、「男子校-男性」グループでは「答えたくない」と回答した比率が「共学-男性」グループの2倍以上に。「男子校-男性」グループで、交際経験が1人以上あると回答した割合は62.1%にとどまりました。



◆男子校／女子校の出身者に、結婚相手の「家柄」を重視する傾向



ここまでの結果を見る限り、女性は共学と女子校のどちらに進んでも結婚意欲や婚期、交際人数には、それほど差が生まれませんと言えそうです。

一方、男子校に進学した男性の一部は、明らかに恋愛・結婚から縁遠くなるのが分かってきました。

続いては、内面的な違い、結婚相手に求める条件には差があるのかどうかを調べてみました。重要視する点を尋ねた結果は、次のグラフ・表のとおりです。

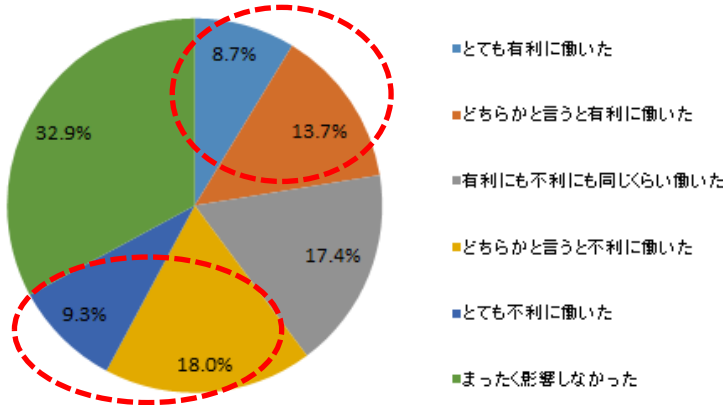
	性格	金銭感覚	収入	自分の両親との良好な関係	容姿	仕事内容(勤務先)	家柄	同じ出身地であること	その他	特になし
全体	81.4%	48.8%	27.2%	16.8%	36.3%	13.1%	5.3%	2.5%	2.5%	5.2%
共学-男性	82.8%	50.9%	9.0%	15.4%	47.1%	5.6%	4.4%	3.6%	1.8%	6.4%
男子校-男性	68.8%	36.0%	12.9%	11.3%	44.1%	9.1%	8.6%	4.8%	1.6%	9.1%
共学-女性	83.7%	51.7%	43.0%	17.3%	26.7%	19.8%	4.3%	1.3%	3.5%	3.7%
女子校-女性	80.6%	44.9%	38.3%	20.0%	30.4%	17.4%	7.0%	2.0%	2.0%	4.3%

共学グループの方が男女共に「性格」「金銭感覚」といった内面を求める項目で男子校／女子校グループを上回ったのに対して、男子校／女子校グループでは男女共に「家柄」「同じ出身地」という項目を選ぶ人が共学グループよりも多くなりました。

その他、「男子校-男性」グループでは「収入」「仕事内容(勤務先)」といった面を、「女子校-女性」グループでは「自分の両親との良好な関係」「容姿」といった面を重視する傾向があるようです。

◆男子校／女子校での経験、恋愛面で有利にも不利にも働いていた

最後に、男子校／女子校に通っていたことは、恋愛をする上で有利に働いたか、不利に働いたかと尋ねてみました。「有利に働いた」と感じている人が22.4%だったのに対して、「不利に働いた」と感じている人は27.3%。多少は「不利」だと感じている人が多いようですが、そこまで大きな影響を与えてはいないようです。



◆男子校／女子校の出身者に、結婚相手の「家柄」を重視する傾向

また、「有利に働いた」「不利に働いた」との回答者にそう感じた理由を聞いてみたところ、次のような回答が集まりました。

◇有利に働いた

- ・男子校と答えると異性の反応がいい(男性)
- ・積極的に外へ出ることが多くなる(男性)
- ・誠実な人に思われた(男性)
- ・大学名がブランドとなり、友人から紹介などしてもらえた(女性)
- ・女子高出身だが、それが理由でモテた。塾や習い事を通じて男性と出会う機会にも恵まれていたため、特に男性不信にもならなかった(女性)
- ・共学の女子は思春期のため、男子の視線を気にしているが、男女別学のため、自分を表に出すことにためらいがなくなった

- (女性)
- ・女らしさがどんなものか分かるようになったし、女ばかりだったので、磨きのかけ方がよく分かった(女性)
 - ・同レベル高校、大学の同級生同士の恋愛結婚ではなく、卒業後社会人のレベルの高い人を「初めての人」として恋愛できる強みがあった。社会人になってからの初な感じの女性は、同性からは少し嫌味を言われるが異性からはよくして頂ける機会が多い。
 - ・学生の時に焦って誰でも良いから付き合いたいなどのような恋愛をしなくてよかったと感じた(女性)

◇有利にも不利にも働いた

- ・日頃異性とコミュニケーションを取れないので、校外での活動(ボランティアなど)に積極的に参加し、接点をもつ努力をした。そうしたインセンティブが働いたことはよかったと思う。一方で、男子校出身というだけで恋愛に奥手というイメージを持たれたことはマイナスであった(男性)
- ・学校での出会いはなかったため恋愛の機会は共学より少なくなった。女子校の女子大生が男性にウケがよかったので他の出会いの場では共学に通っている女子大生よりも声がかかることが多かったように思う(女性)
- ・女子校は女子力が上がったし、出会いはなくても損得には影響していないと思う(女性)
- ・男性に対する期待が大きすぎたことがデメリット。女性の能力や習性に対する慣れができたことがメリット(女性)

◇不利に働いた

- ・普通の女子の行動がどのようなものなのか分からず戸惑ったことがある(男性)
- ・異性に対して話すのが怖くなった(男性)
- ・男子校だったので女性と接する機会が少なく、女心が理解できない事が多かった(男性)
- ・基本的には知らないことだらけ、緊張というよりかは無関心で恋愛がかなり奥手になりました(男性)
- ・自分にとって良い相手か見極める事ができなかった(女性)
- ・彼氏よりも趣味を極める傾向が後々まで続くようになった(女性)
- ・友人同士のつながりが強く、いつまでたっても遊ぶ友達に困らず、毎週誰かしら遊んでくれる友人がいるため、彼氏を必要とせずに婚期を逃した(女性)
- ・最初は男性と話すのに勇気がいった。自分がどう見られているか分からなかった。また、同窓会で再会して彼氏ができたり、輪が広がったり、というのが無かったのが少し残念(女性)

調査方法: インターネット調査

調査対象: 25~34歳で公務員か会社員の未婚男女2115名

集計期間: 2016年3月10日~3月16日

[株式会社パートナーエージェント 会社概要]

商号：株式会社パートナーエージェント

証券コード：東証マザーズ6181

代表者：代表取締役社長 佐藤 茂

創業：2006年9月

所在地：東京都品川区大崎1丁目20-3

イマス大崎ビル4階

URL：パートナーエージェント <http://www.p-a.jp/>

おとなの婚活パーティーOTOCON <http://www.otocon.jp/>

- 事業内容：1. 結婚相手の紹介、相談
2. 交際、結婚に関する調査研究
3. イベント、旅行の企画・運営
4. 生命保険、損害保険代理店
5. 挙式、披露宴の企画・斡旋
6. カウンセリング、各種セミナー運営
7. 会員誌、その他出版
8. Webサイト、Webコミュニティの企画・運営

～代表メッセージ～

現代は、結婚しにくい時代と言われています。

仲人やお見合いなどの社会的な出会いの場が減少し、結婚をしたくても機会に恵まれない多くの独身者がいます。

当社は、もっと信頼できる結婚情報サービスを目指して設立されました。

従来の結婚相談のサービスを見直し、結婚を望む顧客へ高い成果を提供することで多くのお客様の支持を頂いてきました。

これからも、1年以内の結婚を支援するエージェントとして

未婚・晩婚を解決する社会の実現へ貢献して参ります。



PARTNER AGENT



各支店一覧

- ◆札幌店 (北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ15階)
- ◆新宿店 (東京都新宿区西新宿1-13-12 西新宿昭和ビル9階)
- ◆西新宿店 (東京都新宿区西新宿1-22-15 グラフィオ西新宿10階)
- ◆銀座店 (東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン14階)
- ◆銀座数寄屋橋店 (東京都中央区銀座5-1-7 数寄屋橋ビル5階)
- ◆池袋店 (東京都豊島区西池袋1-17-10 エキニア池袋4階)
- ◆丸の内店 (東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル2階)
- ◆町田店 (東京都町田市市中町1-1-4 No.R 町田北3階)
- ◆上野店 (東京都台東区上野2-13-10 朝日生命上野ビル 6階)
- ◆横浜店 (神奈川県横浜市西区北幸2-1-22 ナガオカビル5階)
- ◆大宮店 (埼玉県さいたま市大宮区仲町1-110 OMIYA NSDビル8階)
- ◆千葉店 (千葉県千葉市中央区新町1-17 JPR千葉ビル13階)
- ◆船橋店 (千葉県船橋市本町6-2-20 ゼブラ船橋ビル6階)
- ◆静岡店 (静岡県静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル9階)
- ◆浜松店 (静岡県浜松市中区板屋町111-2 浜松アクタワー 11階)
- ◆岡崎店 (愛知県岡崎市明大寺町川端19-14 朝日生命東岡崎ビル2階)
- ◆名古屋店 (愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋7階)
- ◆名駅桜通北店 (愛知県名古屋市中村区名駅2-41-10 アストラレ名駅5階)
- ◆大阪店 (大阪府大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビル6階)
- ◆なんば店 (大阪府大阪市中央区難波3-6-11 なんば池田ビル6階)
- ◆京都店 (京都府京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 四条烏丸FTスクエア3階)
- ◆神戸店 (兵庫県神戸市中央区小野柄通7-1-1 日本生命三宮駅ビル6階)
- ◆福岡店 (福岡県福岡市中央区天神2-3-13 USHIOビル5階)
- ◆北九州店 (福岡県北九州市小倉北区米町1-1-21 大分銀行・明治安田生命ビル3階)

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

株式会社パートナーエージェント 広報担当：森川

TEL.03-6388-9831 FAX.03-5759-2701